

通訳および
日本語での
解説付き！

ナラティブ・セラピー発祥の地

ニュージーランドで感じ、学ぶ

ナラティブ・セラピー ワークショップ 2019



場所: ニュージーランド(北島)ハミルトン市

期間: 2019年4月28日(日)から5月3(金)(5日間のワークショップ)

費用: ワークショップ参加費+空港/ハミルトン間のシャトルバス代金
\$2,000ニュージーランドドル(ニュージーランドの消費税15%が含まれます)

- * 渡航費用、宿泊費、および食費は含まれません。
- * 希望者には宿泊場所を手配いたします。またご自身で手配するための要領については、本資料の「宿泊手配について」をご覧ください。

募集人数: 16名~18名(最小催行人数12名)

対象: 対人援助職についており、ナラティブ・セラピーの
ことを学ぼうとしたことがある方、興味がある方

- * 本ワークショップにおいて、ナラティブ・セラピーの学習
レベルは問いませんが、ワークショップはまったくの初
心者に合わせた内容ではありませんので、参考図書を
事前に読んでおかれることをおすすめします。

申込先: <https://goo.gl/azK51d>

ワークショップの概要

ナラティブ・セラピーを大学院および博士課程の中心に据えているワイカト大学の講師陣、そして、同大学の大学院を終了し、日々実践しているカウンセラーを講師として招き、ナラティブ・セラピーの基礎と実践を感じ取ってもらうプログラムです。

ナラティブ・セラピストになるためには、その思想的背景を理解する必要がありますが、書籍などを読んで「理解」するだけでなく、全身でその実践を「感じ取る」ことも重要です。このワークショップを通して、ナラティブ・セラピーがより身近になり、ご自身の臨床に生きてくることを目指します。

ワークショップにおいては、「ナラティブ・セラピーの会話術」を著し、ナラティブ関係書を訳している国重浩一が日本語で解説します。また、本コースには国重の共訳者であるバーナード紫が通訳を勤めますので、英語に自信がない方でも参加できます。

本ワークショップの特長

- ☆ ナラティブ・セラピーの本場でその理論と
技術を肌身に感じながら学ぶ
- ☆ ナラティブ・セラピー専門大学院の講師陣
- ☆ ナラティブの専門大学院で学び、ナラティ
ヴを実践しているセラピストから学ぶ実践
- ☆ ナラティブ関係書を多数訳している通訳
者
- ☆ 日本語による解説
- ☆ 英語で学んだことを深めていくための日本
語によるディスカッション

ナラティブ・セラピー発祥の地「**ニュージーランド**」で感じ、学ぶ ナラティブ・セラピー ワークショップ 2019

参加者からの声

「私たちの日常は、何らかの文脈によって生み出され、また何らかの文脈を生み出している。いかなる文脈にも影響されずに生きることはできないが、今と異なる文脈を見つけ希望を持って生きることができる。そしてそのための支援も可能であることに気づけた。」

「毎日シャワーのようにナラティブ・セラピーについて話を聞き、考えた経験はあまりにも大きなことです…クライアントと共にわからないことをそのままに、クライアントへの好奇心を持ちつづけること、言葉を選んでいくこと、双方にじっくり言葉を考えることを実践し、セラピーでの対話を楽しんでいける予感がします。」

「多分、数え切れない意味があったと感ずます。ニュージーランドでナラティブ実践にたずさわる講師の方々に肌で感じられたのはとても意味がありました。単なる技術でないものがあることが伝わりました。」

「内容に関しては、コンテンツもプロセスも、とても良かったと思います。講師の先生方が提供して下さった内容は、どれも知的な刺激を与えてくださると同時に、聞いている者

をその場で癒して下さっているような、不思議で心地よいものでした。これも参加者の方がすでに述べられていたことですが、英語を聞き、それを日本語で聞き直すという進み方が、自分の中に落とし込むとても良いスピードとなっていました。これがもしはじめからすべて日本語で行われていたら、消化しきれないものがたくさん残されただろうと思います。通訳の紫さんのことは遣いはとても惹かれるものがありましたし、その声は本当に心地よく、聞きやすいものでした。」

「今回、ナラティブ・セラピーを肌で感じる事ができたのは、何にも代えがたい経験です。人に関わり、その人の人生の物語の再著述を共にしていくナラティブ・セラピストになるには、知識、スキルと共に人としての人間力、深さ、健やかさ、真摯さが問われると感じました。」

「NZという、日常から離れお互いをニックネームで呼んで肩書から離れることで、自分がいかに日常的なディスコースに捕らわれているかを実感でき、そこから離れることの「心地良さ」を体感できたので、それを持ち帰りたい。またナラティブ・セラピーの真骨頂である「外在化」の威力も実感できたのでそれを持ち帰りたい。今までも「外在化」は時々使っていたが、それをより自然に効果的に使えるように、診療の中でより多く使う予感があります。」



ナラティブ・セラピーとは プログラム(予定)

ナラティブ・セラピーは、人々が直面する問題が何であれ効果的に直面できるように、本人自らが実践している価値、技術、知識を人々が認識できるのを助けようとする心理療法の形態である。

セラピストは、このような資質の歴史を調査することによって、クライアント自身の新しいナラティブを共に著述していくように助けるのである。

ナラティブ・セラピーは、人々の人生を否定的な方法で形作るように要求する支配的なディスコースにチャレンジすることを通して、治療的な会話が社会的正義のアプローチとなるように求める。

このアプローチは、大部分がオーストラリア人のソーシャルワーカーであるマイケル・ホワイトとニュージーランドのデイヴィッド・エプストンによって、1970年～80年代に開発された。https://en.wikipedia.org/wiki/Narrative_therapy (国重浩一・バーナード紫訳)

ワイカト大学・ カウンセリング大学院

ハミルトン市にあるワイカト大学では、世界で最も早く、ナラティブ・セラピーをカウンセラー教育課程の中心に据え、教えてきました。本ワークショップの講師およびセラピストは、すべて、この専門コースの出身者です。

(なお、本ワークショップへの参加によって、ワイカト大学の単位を取得することはできません)

4月28日(日)

夕方: チェックイン&オリエンテーション(日本語)

4月29日(月)

AM: マオリ族の歓迎のセレモニー&ランチ

PM: 講義(ナラティブ・セラピー入門)

4月30日(火)

AM: 講義(ナラティブ・セラピーの実践)

PM: 理解を深めるための振り返りと解説(日本語)

5月1日(水)

AM: 講義(ナラティブ・セラピーを取り巻く理論)

PM: 理解を深めるための振り返りと解説(日本語)

5月2日(木)

AM: 講義(ナラティブ・セラピーの質問)

PM: 理解を深めるための振り返りと解説(日本語)

5月3日(金)

AM: 学びの振り返り

PM: ナラティブ・セラピストになるために(日本語)

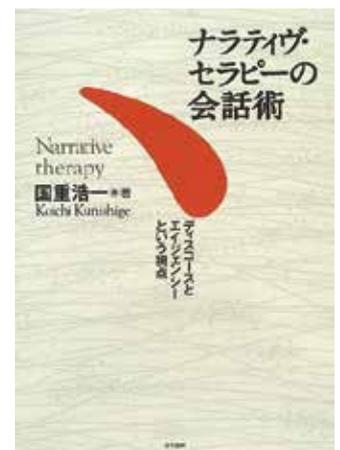
(総括的な振り返りと今後に向けて)

5月4日(土) (オプションルツアー)

5月5日(日) (有志者で自主勉強会)

5月6日(月) ニュージーランド発

参考図書



宿泊手配について

ワークショップを行うハミルトン市は、オークランドから南に150Kmほどにある都市です。ワークショップ会場のYWCA Hamiltonは、ハミルトン市の中心街にあります。

今まではDCNZが宿泊料金を参加者に請求して、宿泊場所の手配をおこないましたが、いろいろと調査した結果、ホテル予約サイトからご自身で予約した方が安くなることが分かりました。

そこで、ホテルの手配につきましては、ワークショップ会場に近いホテルの一覧を挙げますので、ご希望のホテルをホテル予約サイト(ブッキングドットコム、ホテルズドットコム、エクスぺディア、じゃらんnetなど)からご自身で予約していただくようお願いいたします。

なお、ホテルと調整しなければならないことが生じましたら、通訳などで対応しますので、ご安心ください。

また、ツインルームを希望される方は、申し込みフォームにその旨をご記入ください。他の参加者と調整を図り、こちらで予約いたします。その際には、現地で宿泊料金を支払っていただくことになります。ツインルームは、基本的には、シングル料金の料金と同一ですので、二人で泊まれば半額になります。



本ワークショップを企画している「ダイバーシティ・カウンセリング・ニューージーランド(DCNZ)」は、NZで正式に登録されているチャリタブルトラスト(非営利団体)です。ファシリテータを務めます国重浩一が本組織に所属しています。本ワークショップで得られた収益は、難民・移民に対する支援サービス(カウンセリングなど)の活動資金として活用させていただきます。

宿泊施設

Ventura Inn & Suites Hamilton (ベンチャー)

バイク朝食付き、日本のシティホテルに近い雰囲気

Ashwood Manor Hamilton Motel(アッシュウッド)

部屋が広い。朝食は個別注文。調理設備は限られている

Tudor Motor Lodge Hamilton(チューダーロッジ)

各部屋に調理設備が完備。自炊したい人向け

Lake Point(レイクポイント)

各部屋に調理設備が完備。自炊したい人向け。上の三つ

よりも若干遠い。坂の上にあるため少し登ります

Sudima Hamilton(スディマ)

町の中心に位置するホテルです。YWCAからは若干距離がありますが、食事などには便利です

NZ消費税とドル表記

主催するDCNZの事業規模がそれなりに成長してきたので、ワークショップ参加費にNZ消費税(GST)が必要となります。参加費には消費税が含まれますので、ご了解ください。

また為替レート変動分を見越して、ワークショップ金額を決めると結果的に割高になりますので、ワークショップの代金はNZドル建てで表示することになっています。

問い合わせ

国重浩一 バーナード紫
narrative@dcnz.net (日本語可) ニューージーランドに在住していますので、メールでの問い合わせとなります。なお、希望者にはスカイプで話すことも可能です。

参加申し込み要領

以下のサイトからお申込みください。

<https://goo.gl/azK51d>

なお、3月末日までに最小催行人数が集まらなかった場合、ワークショップは中止と致します。

ワークショップ代金の支払い方法は、実施が決まった時点でお知らせしますので、その後すみやかに入金をお願いします。

以下のサイトにおいて、申込状況およびワークショップ実施の決定などを適宜更新していきますので、確認のためご覧ください。

キャンセルポリシー

ご入金後～当日の3週間前まで：参加費の50%を返金いたします。
当日の3週間前～当日まで：申し訳ありませんが、返金いたしません。